

第3回世界水フォーラム

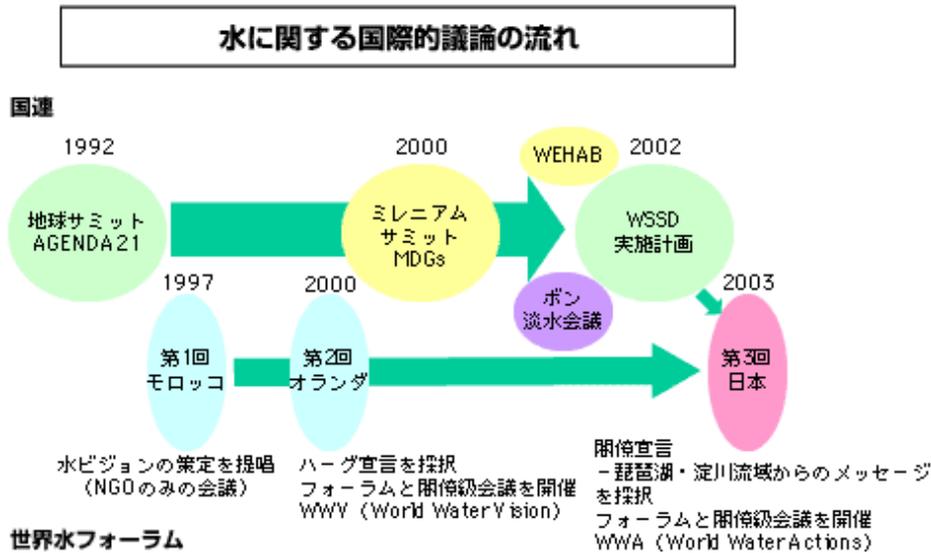
世界水フォーラムの概要

世界の水問題の解決のためには、各国の政府や国際機関だけでなく様々な立場の人々が連携して取り組んでいく必要があります。

このような趣旨から、政府、国際機関、学識者、企業及び NGO によって、包括的な水のシンクタンクとして設立されたのが「世界水会議 (World Water Council)」です。この「世界水会議」が、3年に1度、様々な関係者の討議の場として開催しているものが、「世界水フォーラム」(以下「フォーラム」といいます)です。

これまでの経緯

水に関する国際的な議論は1992年のリオ環境サミットを契機として始まりました。第1回フォーラムは1997年にモロッコで、第2回は2000年にオランダでそれぞれ開催されました。第1回フォーラムでは、21世紀における世界の水問題解決の方向性を俯瞰するビジョンの作成を決定し、第2回フォーラムでは、さらに、閣僚会議が併せて開催され、閣僚宣言(ハーグ宣言)が採択されました。この他、2000年国連ミレニアムサミット及び2002年ヨハネスブルクサミットの成果も含め第3回世界水フォーラムを実施することになりました。



(注)

1. MDGs; UN Millennium Development Goals (ミレニアム開発目標)
2. WSSD; WORLD SUMMIT ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT (持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグ・サミット))

第3回世界水フォーラム

第3回フォーラムは、2003年3月16日～23日に滋賀、京都、大阪の琵琶湖淀川流域で開催され、政府はその支援を行うとともに、その一環として閣僚級国際会議を開催しました。第3回フォーラムでは、

1. 開かれた会議
2. 一人一人がつくる会議
3. 議論から具体的な行動を実現する会議

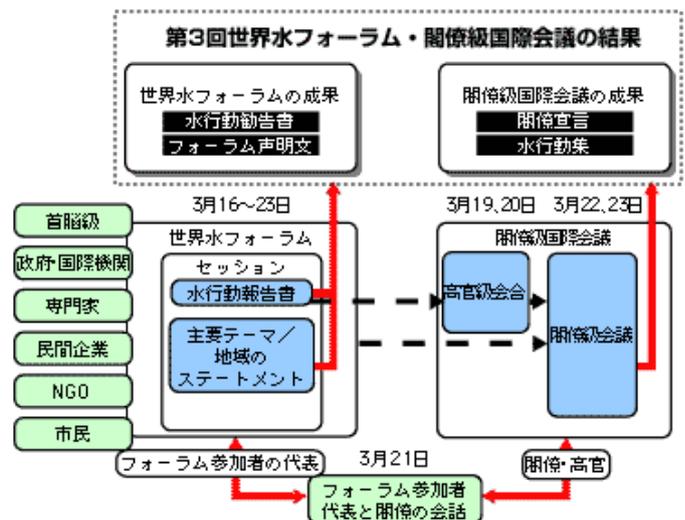
を理念とし、準備段階から世界中から様々な「水」に関する意見を集め議論を行い、フォーラム開催期間中には世界各国から2万4千人を越える人々の参加による351の分科会が開かれました。この成果として、政府やNGOなど様々な関係者の水問題の改善に向けた取り組みを広く共有化していくための「世界水行動報告書」が作成されました。

閣僚級国際会議

日本政府主催による閣僚級国際会議は、3月22及び23日の2日間、京都国際会館において170の国・地域と47の国際機関等から130名を越える閣僚級を含む、約1300人が出席し開催されました。この成果は、具体的な行動の実現に向けた参加各国と国際機関の合意による閣僚宣言と、各国政府や国際機関がそれぞれ提出した水に関する自発的行動である「水行動集(Portfolio of Water Actions; PWA)」にとりまとめられました。

<成果>

- ・[閣僚宣言\(英文\)](#) [pdf]
- ・[閣僚宣言\(日本語仮訳\)](#) [pdf]
- ・[閣僚級国際会議最終報告書\(英文\)](#) [pdf]
- ・水行動集(PWA)
 - ・[List of "Portfolio of Water Actions"](#) [pdf]
 - ・[Japan's Portfolio of Water Actions](#) [pdf]
 - ・[「日本の水行動集」概要](#) [pdf]
 - ・[「日本の水行動集」全体編](#) [pdf]



<概要>

- ・[閣僚級国際会議及び関連行事 1週間スケジュール](#) [pdf]
- ・[閣僚級国際会議プログラム](#) [pdf]
- ・[第3回世界水フォーラム・閣僚級国際会議開催の意義](#) [pdf]